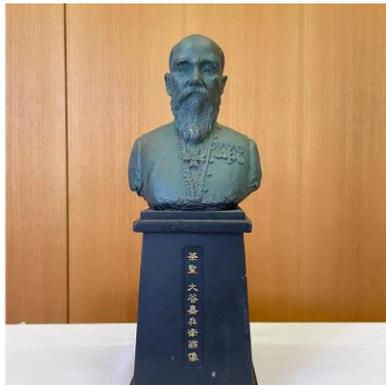


2022年10月吉日

## 第22回大谷嘉兵衛まつりに参加しました

2022年10月23日に開催されました「第22回大谷嘉兵衛翁まつり」に弊社社長が参加しました。同まつりは、弊社創業の祖の一人である日本紅茶・大谷嘉兵衛翁の、人となり  
を顕彰するとともに、松阪茶業の振興を図ろうと「茶王 大谷嘉兵衛の会」の主催により、  
毎年、三重県松阪市飯高町で開催されています。

当日は、いも煮の振る舞い、餅まきなどが催され、我社ブースでは「マブロック紅茶」の  
配布を行いました。添付、2022年10月24日付夕刊三重の掲載記事もご参照ください。



(献茶式でお供えした大谷嘉兵衛銅像)



(餅まきの様子)

大谷嘉兵衛翁をきっかけにご縁をいただきました、大谷嘉兵衛の会をはじめとする地元  
飯高町の皆様とは、引き続き交流を深めて行ければと思います。

また、今回、本まつりに駆け付けて頂いた松阪市竹上市長様にもご挨拶をさせて頂く機会  
を得ました。加えて、三重県にゆかりのある企業様とも企業活動を通じ、弊社親会社の三  
菱食品が掲げております「多様な地域パートナーシップの構築による地域コミュニティの  
活性化」にも寄与して行きたいと思っております。

以上

【2022年10月24日付夕刊三重】

## 400人に芋煮、大振る舞い

お茶入れ教室や  
ギター演奏も 川俣小で嘉兵衛翁まつり

茶王・大谷嘉兵衛の会（大榑栄治会長、約30人）は23日午前11時から、松阪市飯高町粟野の市立川俣小学校（休校中）で「第22回大谷嘉兵衛翁まつり」を開催。3年ぶりの開催に地元住民らでにぎわった。

同まつりは、茶業にとどまらない嘉兵衛の人となりを顕彰するともなう。松阪茶業の振興を図ろうと毎年、この時期に開いている。

大鍋で作る振る舞いの芋煮は400人分を用意。来場者たちは一人ずつ受け取り、おいしそうに頬張った。

また会場では「おいしいお茶の入れ方教室」をはじめ、嘉兵衛が創立した日本紅茶樹を受け継ぐ樹エムシーフーズ（東京都）のスリランカ紅茶の展示、県立飯南高校の援團サークルによるオリジナルデザインの手シヤツ、タオルの販売コーナー



→大鍋で作った芋煮の振る舞いを楽しむ来場者たち。飯高町粟野の川俣小で。

などが設けられた。また体育館では「日本ギタートーンスクール」上級部門で金賞を受賞した県立松阪高校の年生・柳凜空さんによるギター演奏や、七笑い合唱団、バンド演奏で盛り上がった。午後2時から恒例の餅まきがあり、従来より40

※多い100名を壇上から投げた。  
大榑会長（85）は「3年ぶりの開催となり、しかも盛況。協力し合って準備したおかげ」と喜んでいました。

この日はまた、松阪偉人顕彰団体協議会（高島信彦会長）主催の「偉人発見ウォーク」の「大谷嘉兵衛を学ぶコース」が

同時開催され、嘉兵衛の生家跡や大谷橋、資料室などをガイドの案内で回った。